

経営比較分析表（平成28年度決算）

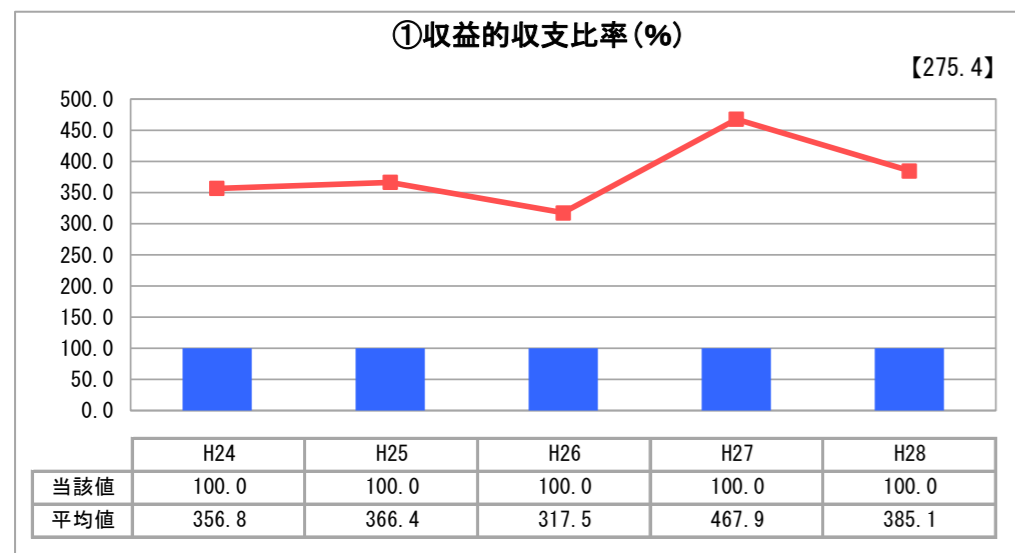
福井県鯖江市 文化センター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

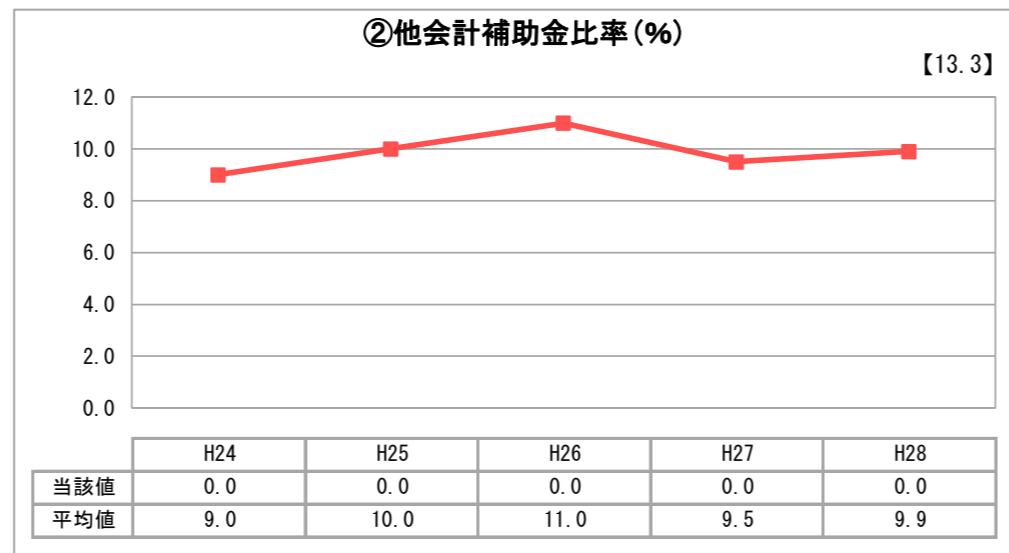
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	7,953
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
300	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	平成28年度全国平均

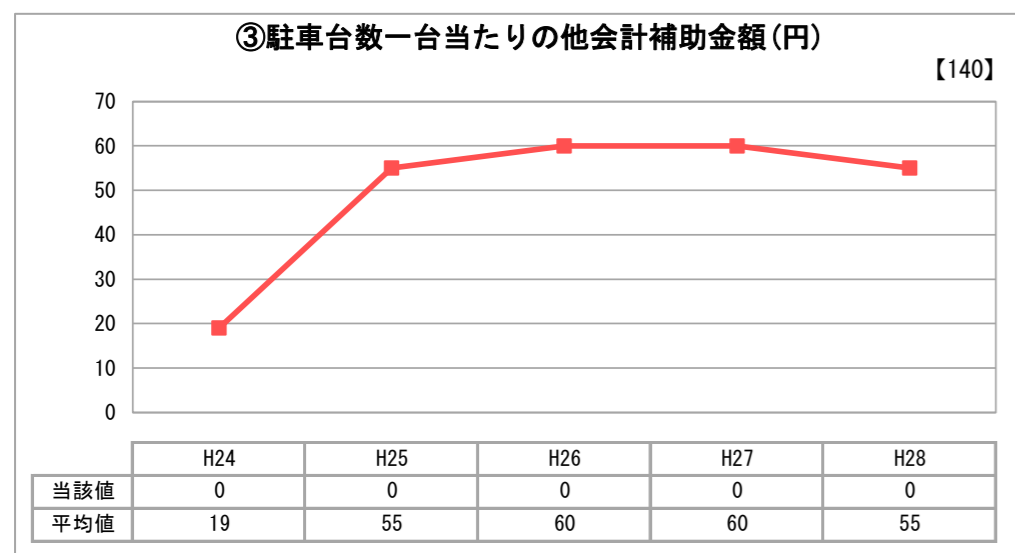
1. 収益等の状況



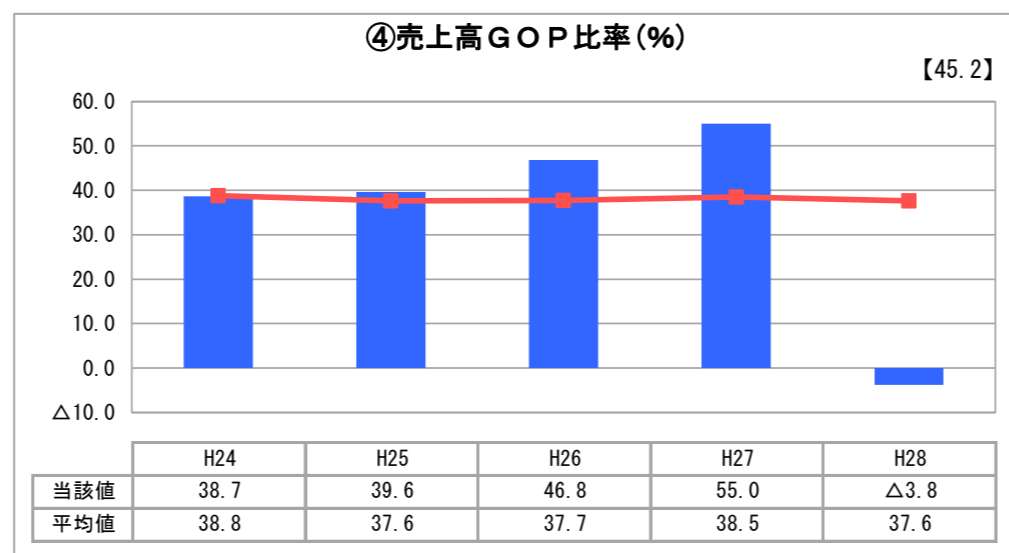
「経常損益」



「他会計補助金割合」

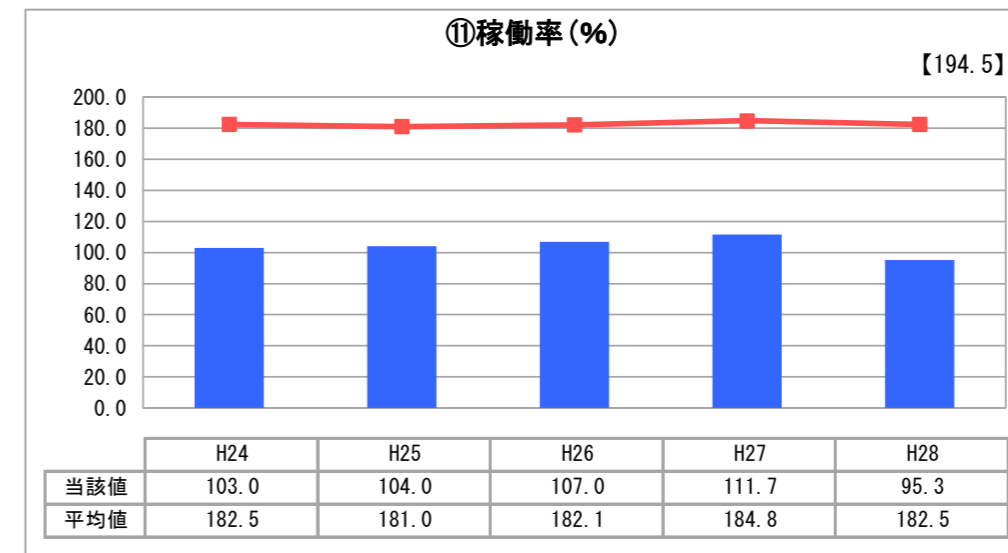


「他会計補助金額」

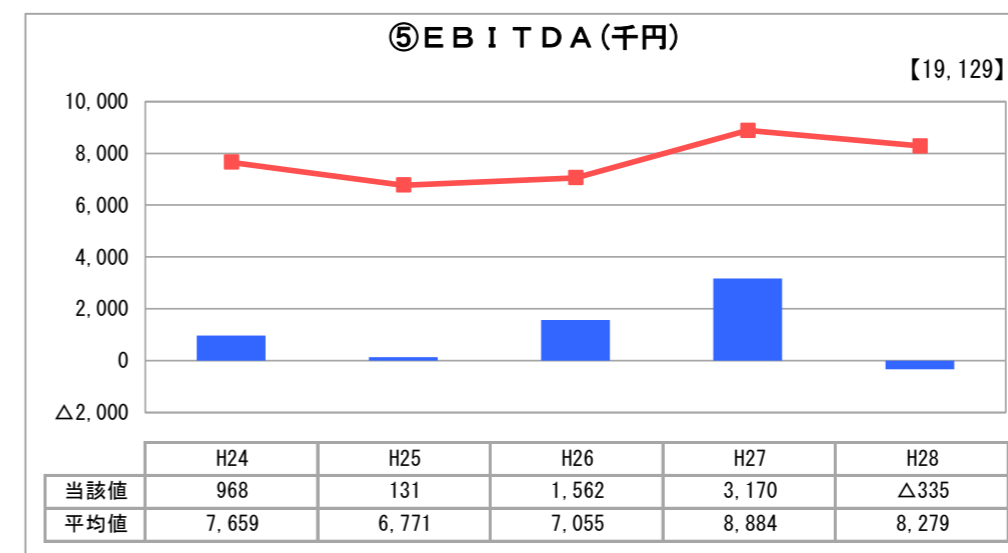


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

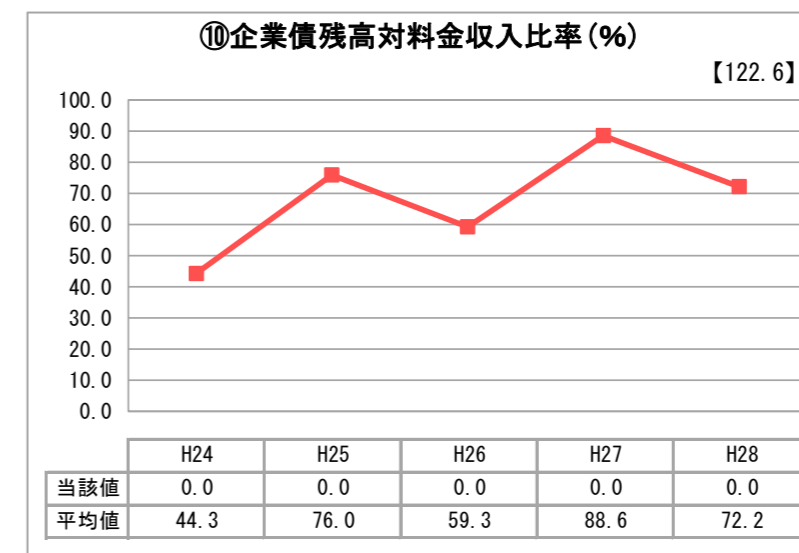
26

⑧設備投資見込額(千円)

19,018



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 収入については一般会計上に繰り出しをしており、経営的収支比率は100%となっている。他会計からの補助金、繰入は行っていない。売上高GOP比率、EBITDAについては、近年増加傾向にあったが、営業費用の算出方法をH28年度に見直しを行ったことにより赤字となった。要因として、出入口が3カ所あるため、他の駐車場と比べ設備の管理費が高い傾向がある。また、4時間の無料時間を設けているため、収益が低い傾向がある。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れはない。現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、計画的な機器の更新が必要がある。また、平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替え、舗装の補修を予定している。今後、建設から年数が経つにつれて、案内板等についても老朽化は進むことから、状態を見て対応する必要がある。

3. 利用の状況について
 稼働率が低い要因として、①体育館、陸上競技場、文化施設が隣接し、土日祝日の日中のみ利用が集中するため②駅、商店街から遠いため、利用が限られていることが挙げられる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるよう視野に入れる。利用実態として、休祝日の利用率は高い。平日、イベントのない時間帯は空車が目立つ傾向がある。

全体総括
 売上高GOP比率、EBITDAは赤字となっている。要因としては、出入口が3カ所あり、他の駐車場と比べ設備の管理費が高いこと、また無料時間が4時間あるため、その時間内の利用が多い。今後、支出減への経営努力を行う必要がある。また施設の更新が近づいているため、管理費の低くなるよう方法を検討し、継続した運営をしていきたい。